

「3人の武将と全国統一」

単元のねらい

信長・秀吉・家康の3人の武将による全国統一の様子に関心をもつようにするとともに、戦国の世が統一されていく様子などを理解し、戦国の世を統一した人物の働きをとらえる。

いつ学習するの？

単元の指導計画

- ・3人の武将について計画を立てて調べる
- ・信長が統一を目指すことを理解する
- ・秀吉が大名を従えることを理解する
- ・家康が江戸幕府を開くことを理解する
- ・3人が全国統一に果たした役割を考える

3人の武将の学習のまとめをした後に、3人の武将について、学習していない意外な一面を知る資料を提示することで、複数の資料や知識を活用することで、もの(人物)の評価や見方が変わることがあることを知る。

どんな活動をするの？

実施時間：約15分

- 3人の武将の学習のまとめの後に、ワークシートを配付し、考えたことを書かせる。



信長は若いころ、変なふるまいばかりしていたわけではなく、まじめなところもあったんだ。

家康にも、がまんできないこともあったんだね。いろんな情報を知っておもしろいなあ。



- グループやクラス全体で考えたことを話し合わせる。



歴史を研究している人の本を読んでもみると、違った見方ができるようになるんだね。

- 同じ歴史の内容でも、新しい情報が加わると、もの見方や解釈が変わることがあることに気づかせる。

中学校では、さらに詳しく歴史を学びます。新たな学びが、もの見方を変えるかもしれませんね。



★3人の武将の意外な一面を知ろう！

次の史料(歴史の文獻)から、3人の武将の「意外な一面」を推察する歴史家もいます。

武将	史料	ある歴史家の見方
織田信長	【信長公記(やさしくしたも)】 ○信長公は、16〜17歳ごろまでは、馬のいかに乗れるが、3月〜9月までは山で全歩の練習をするなど、他の武将とは違っていた。 ○やりの訓練で疲れたが、「腕の力はよくない」といって、6mほどの長やりをした。	信長は、「大うつけ」といわれているが、武勇の訓練にばかり、武勇の研鑽を怠らなかつた。真面目な面が引き出されている。
豊臣秀吉	【関白任官記(やさしくしたも)】 わが国は、われを身ごもったときに、ゆてい事を得た。それは後のことであつたが、日光が聖所に落ちあふれ、まるで雲のようであつた。早稲穂に占むせたところ、「この子は大人になると徳を四海に輝かし、威を八方に及ぼす」と喜んだ。	秀吉は、このように秀吉が徳を身にまとい、素晴らしい生まれの身分に引き出されている。たといえるのではない。
徳川家康	【織田軍の大敵・武田信玄との戦い】 家康が28才のとき、同族を結んで信長と武田の用心深い性格を利用し、三ヶ峯(静岡県)に家康をおびせ出した。家康は、その誘いにまんまと乗り、脱走することなく攻撃して大敗した。	家康は、がまん強い性格だと書かれているが、いつもそうだったとは限らない。その戦いでの勝利、軍外、足元だったのではない。

★上の資料を読んで、3人に対してもっていたイメージと大きくちがった入を1人選び、どのようにちがったか書いてみましょう。

▶選んだ武将 { }

*ワークシートや指導案をWebからダウンロードすることができます。

キャリア教育の

子どもたちに気づかせたい宝

- 知識が増えることは、もの見方が広がることにつながる。
- 史実から想像して考えていくことが、学びを広め、深めることになるが、限られた情報のみに基づく理解は、一面的なとらえ方に陥る可能性がある。

もっと知りたい!

職業のこと

—— 弁護士 ——
一番町総合法律事務所
中村 正利さん



「お寺の土地で幼稚園をやっているが、土地から出ていくように言われている、何とかしてほしい」という依頼がありました。地代はここ数年払っていないと言います。私は、地代を払う方向で解決するしかないと判断しましたが、依頼者は納得しませんでした。お寺と幼稚園の経営者は親族関係にあったのです。土地の問題だけだと思い込んで、本質をとらえきれなかった苦い経験です。

▶続きはWebで。

ここで使用するワークシートは、Webに掲載しています。

スマイル・プラネット

検索